



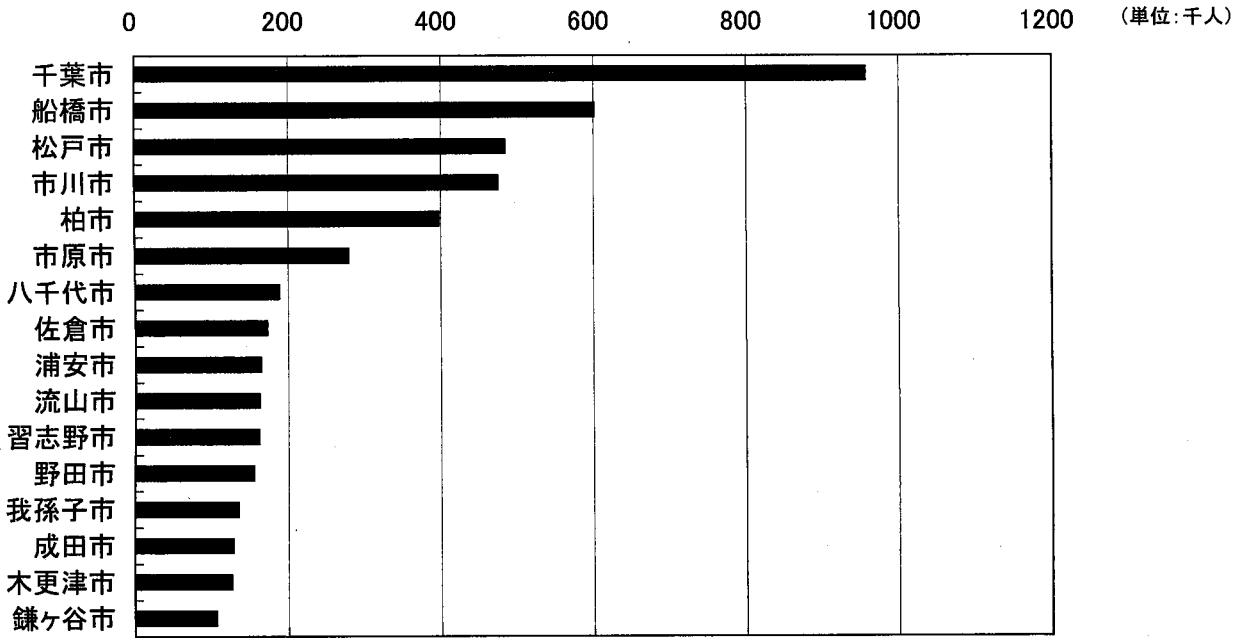
**千葉市人口95万6千人  
県人口の15.5%を占める**

平成22年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部（36市）のうち10万人以上の市は 16市あり、そのうち千葉市が956,669人（県人口に占める割合15.5%）で最も多く、郡部人口297,491人（同4.8%）

の約3倍となっている。以下、船橋市601,396人（同9.7%）、松戸市484,513人（同7.8%）、市川市475,124人（同7.7%）、柏市397,871人（同6.4%）の順で続き、この5市で県人口の47.1%を占めている。

郡部（17町3村）では、大網白里町が50,299人（同0.8%）で最も多く、以下、横芝光町25,119人（同0.4%）、栄町22,781人（同0.4%）、酒々井町21,221人（同0.3%）、九十九里町17,905人（同0.3%）の順となっている。

図2 10万人以上の市



2. 人口増加

**人口増加数 3万3千人  
増加率 0.55%**

平成21年中の本県の人口増加は、増加数33,661人、増加率0.55%で、前年（37,330人、0.61%）より減少した。

近年の人口増加の推移を増加率で見ると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割り、平成21年には0.55%となった。

**自然増加数は減少**

平成21年中の自然増加は、増加数4,843人（出生52,988人、死亡48,145人）で、前年の5,720人（出生52,897人、死亡47,177人）に比べ出生が91人増加し、死亡が968人増加して自然増加数は877人の減少となった。

近年の自然増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する自然増加総数の割合）で見ると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移し、平成21年は0.1%を下回る0.08%となった。

**社会増加数は減少**

平成21年中の社会増加は、増加数28,818人（転入197,477人，転出171,136人，県内の移動485人，その他1,992人）で，前年の31,610人（転入203,069人，転出172,992人，県内の移動60人，その他1,473人）に比べ転入が5,592人減少し，転出が1,856人減少し，県内の移動が425人増加し，その他が519人増加して，社会増加数は前年に比べ2,792人の減少となった。

近年の社会増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する社会増加総数の割合）で見ると，昭和37年から昭和50年までは2%以上の増加率で，そのうち昭和44年は，3.97%と4%に近い高い増加率であったが，昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し，平成21年には0.47%となった。

図3 人口増加率の推移（昭和36年～平成21年）

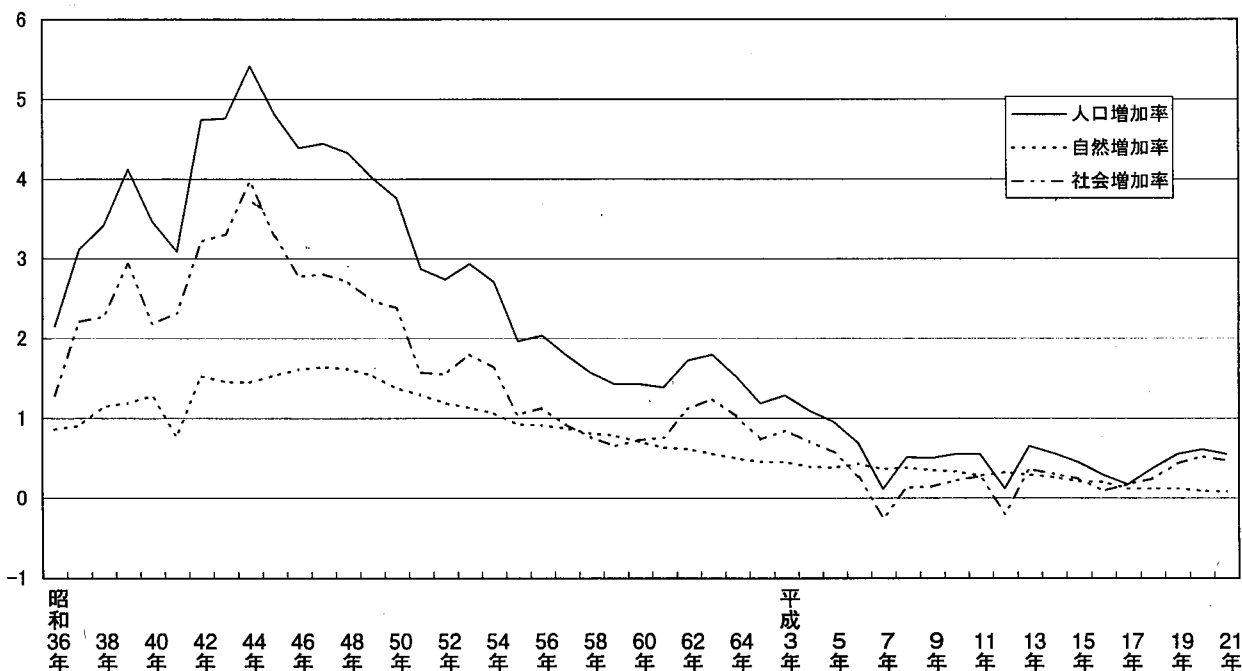


表1 月別動態別人口増加数（平成21年中）

（単位：人）

	人口増加	自然増加			社会増加				
		増加数	出生	死亡	増加数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	1,820	-194	4,987	5,181	2,014	12,608	10,832	60	178
2月中	36	-43	3,931	3,974	79	11,774	11,460	-376	41
3月中	7,079	98	4,400	4,302	6,981	38,267	30,930	-637	281
4月中	10,243	429	4,313	3,884	9,814	30,355	21,878	1,028	309
5月中	2,012	446	4,163	3,717	1,566	13,159	11,767	-55	229
6月中	2,738	720	4,442	3,722	2,018	13,651	11,970	110	227
7月中	2,850	884	4,606	3,722	1,966	14,424	12,943	225	260
8月中	716	801	4,410	3,609	-85	13,200	13,243	-115	73
9月中	2,591	786	4,524	3,738	1,805	13,417	12,077	59	406
10月中	2,050	645	4,554	3,909	1,405	13,799	12,584	-59	242
11月中	1,527	218	4,403	4,185	1,309	11,540	10,140	54	-145
12月中	-1	53	4,255	4,202	-54	11,283	11,312	184	-209
計	33,661	4,843	52,988	48,145	28,818	197,477	171,136	485	1,992

注）その他とは，職権による記載・消除等をいう。

**24市町村で人口増加  
最高増加率は印西市3.39%**

平成21年中の人口増減を市町村別にみると、24市町村で人口が増加し、32市町村で減少した。増加数では、船橋市7,907人（県人口増加数に占める割合23.5%）で最も多く、以下、千葉市が7,433人（同22.1%）、柏市5,038人（15.0%）、松戸市3,081人（同9.2%）、流山市2,779人（同8.3%）と続いている。逆に、減少数では銚子市が1,121人で最も多く、以下、香取市879人、山武市609人、南房総市514人、茂原市431人の順となっている。

また、人口増加率では印西市が3.39%で最も多く、以下、流山市1.75%、白井市1.53%、印旛村1.42%、船橋市1.33%と続いている。逆に減少率では鋸南町が2.02%で最も高く、以下、長南町1.73%、栄町1.70%、勝浦市1.65%、銚子市1.58%の順となっている。

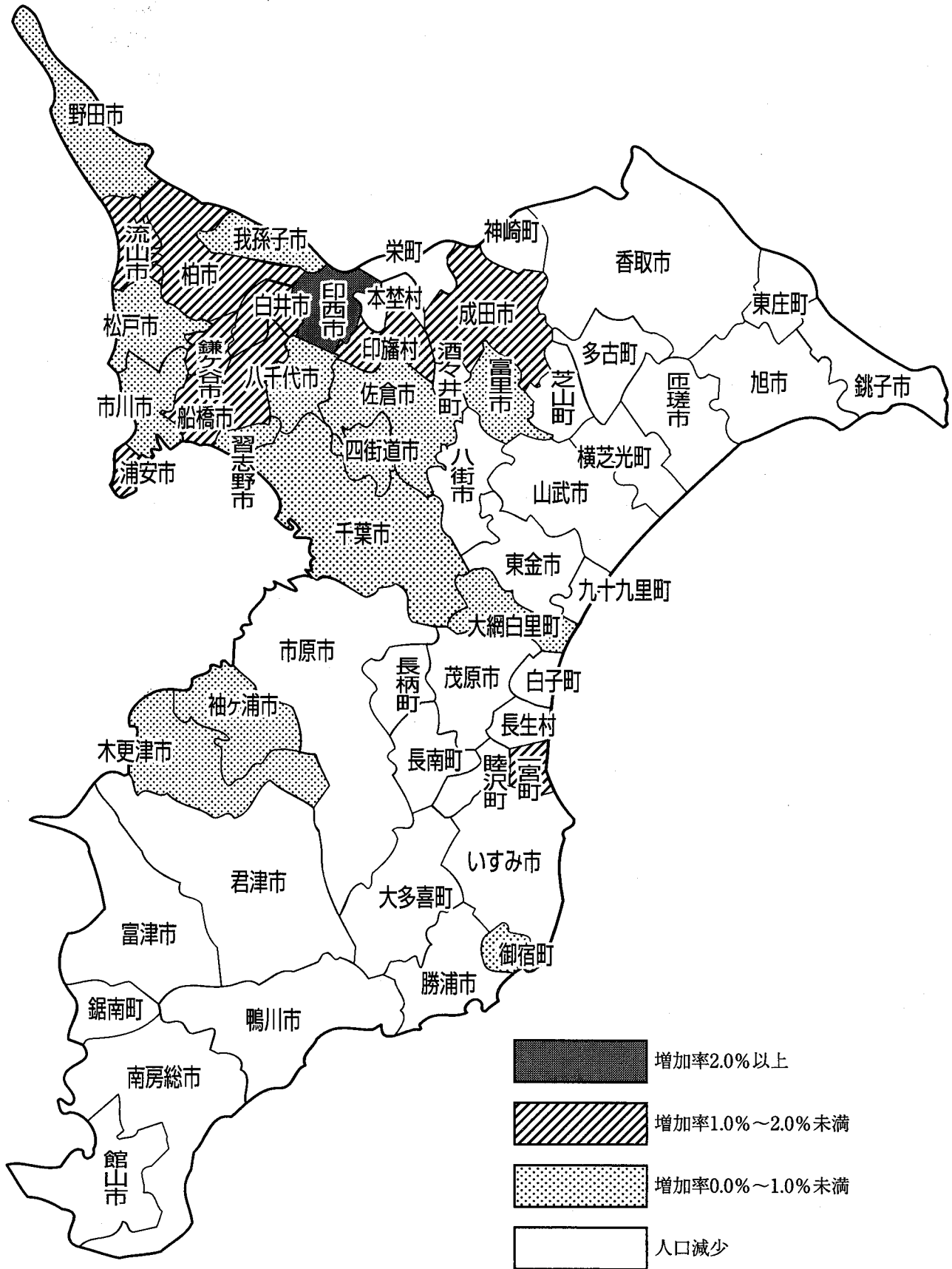
**表2 人口増減数上位5市町村（平成17年～平成21年）**

順位	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人
1	千葉市	6,795	千葉市	5,714	船橋市	10,732	千葉市	10,541	船橋市	7,907
2	浦安市	3,925	船橋市	5,074	千葉市	7,092	船橋市	6,727	千葉市	7,433
3	船橋市	2,165	柏市	3,683	柏市	3,897	松戸市	3,829	柏市	5,038
4	成田市	1,466	松戸市	2,845	白井市	2,522	柏市	3,797	松戸市	3,081
5	八千代市	1,360	市川市	2,260	八千代市	2,076	浦安市	2,985	流山市	2,779
順位	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人
1	松戸市	1,482	銚子市	1,194	銚子市	1,214	銚子市	1,220	銚子市	1,121
2	佐倉市	1,308	香取市	946	香取市	1,144	香取市	1,133	香取市	879
3	木更津市	1,097	君津市	710	君津市	694	山武市	713	山武市	609
4	茂原市	876	市原市	624	富津市	603	南房総市	590	南房総市	514
5	九十九里町	806	南房総市	574	山武市	573	富津市	492	茂原市	431

**表3 人口増減率上位5市町村（平成17年～平成21年）**

順位	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %
1	本埜村	2.80	白井市	2.51	白井市	4.62	印西市	3.46	印西市	3.39
2	浦安市	2.59	本埜村	2.25	本埜村	4.13	白井市	2.77	流山市	1.75
3	大網白里町	1.71	印旛村	1.38	印旛村	3.08	印旛村	2.55	白井市	1.53
4	成田市	1.47	成田市	1.31	船橋市	1.86	浦安市	1.87	印旛村	1.42
5	長柄町	1.39	流山市	1.18	成田市	1.36	流山市	1.44	船橋市	1.33
順位	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %
1	九十九里町	4.08	睦沢町	2.20	長南町	1.79	勝浦市	1.93	鋸南町	2.02
2	白浜町	2.84	鋸南町	2.07	銚子市	1.65	鋸南町	1.91	長南町	1.73
3	下総町	2.43	勝浦市	1.91	鋸南町	1.59	栄町	1.70	栄町	1.70
4	山武町	2.33	九十九里町	1.76	栄町	1.57	銚子市	1.69	勝浦市	1.65
5	丸山町	2.05	銚子市	1.60	大多喜町	1.56	東庄町	1.63	銚子市	1.58

図4 市町村別人口増加率（平成21年1月～12月）



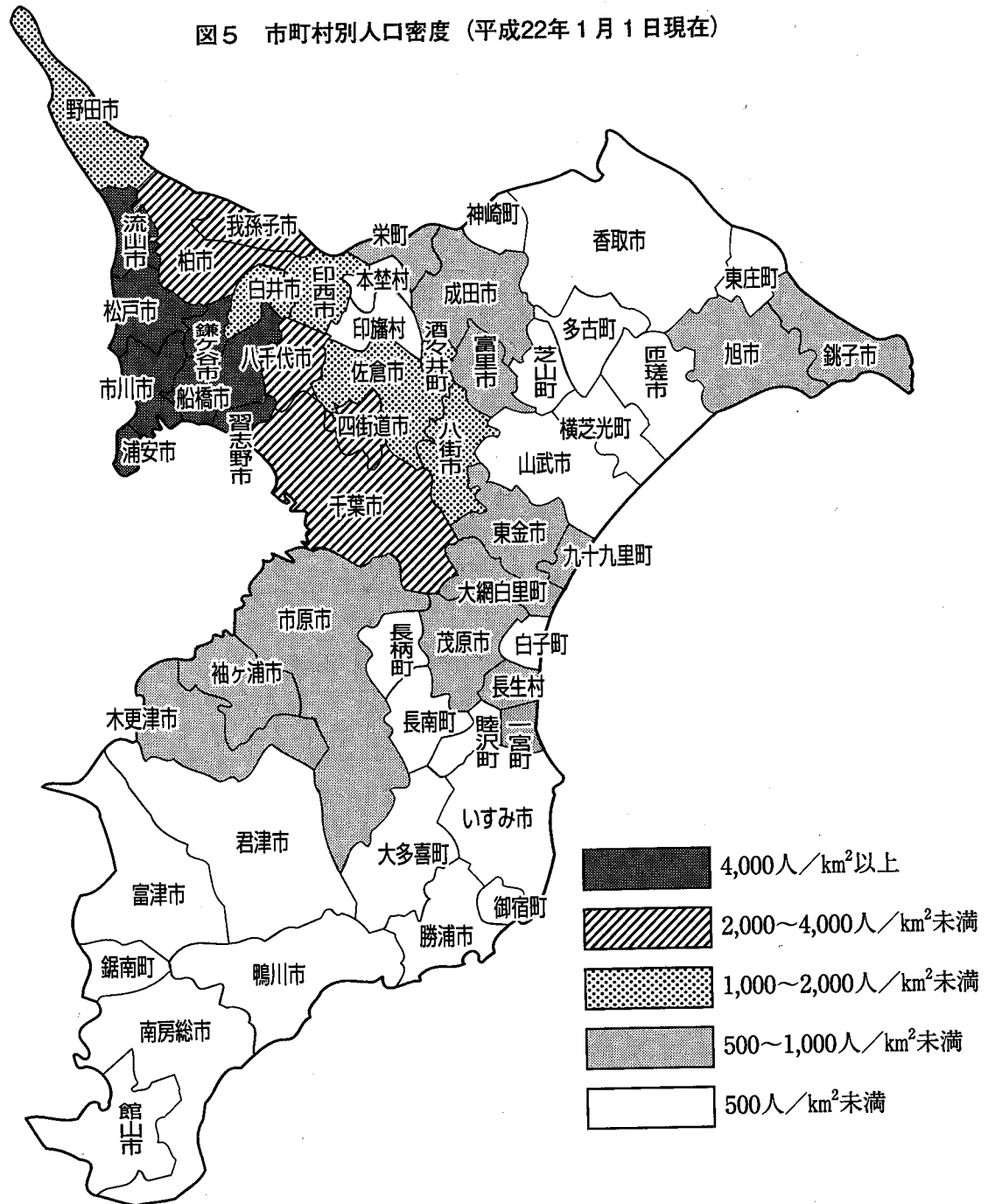
### 3. 人口密度

県人口密度1,199.9人/km<sup>2</sup>  
市町村別人口密度は浦安市が  
9,482.5人/km<sup>2</sup>で最高

本県の人口密度は、平成22年1月1日現在1199.9人/km<sup>2</sup>で、前年の人口密度(1,193.4人/km<sup>2</sup>)に比べ6.5人/km<sup>2</sup>高くなった。市郡別にみると、市部1,377.1人/km<sup>2</sup>、郡部338.2人/km<sup>2</sup>で、市部は郡部の約4倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が9,482.5人/km<sup>2</sup>で最も高く、以下、市川市8,277.4人/km<sup>2</sup>、松戸市7,900.1人/km<sup>2</sup>、習志野市7,703.7人/km<sup>2</sup>、船橋市7,022.4人/km<sup>2</sup>と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町83.9人/km<sup>2</sup>、長南町140.4人/km<sup>2</sup>、長柄町172.4人/km<sup>2</sup>、南房総市184.4人/km<sup>2</sup>、芝山町184.5人/km<sup>2</sup>の順となっている。

図5 市町村別人口密度(平成22年1月1日現在)



## 4. 人口性比

県人口性比99.8

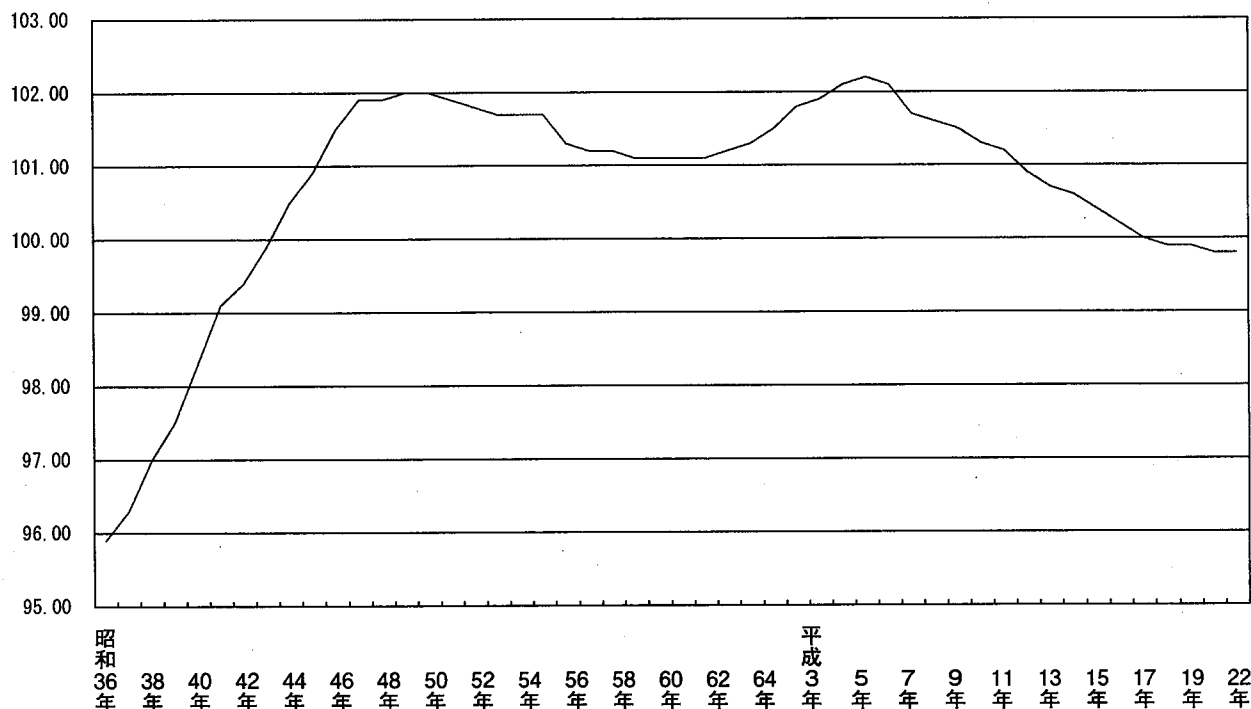
平成22年1月1日現在の本県の人口を男女別にみると、男子3,090,258人、女子3,097,061人で男子が女子に比べ6,803人少なく、人口性比（女子100人に対する男子の数）は、99.8で前年（99.8）と同率となった。

人口性比を市町村別にみると、富里市の105.5が最も高く、以下、市原市105.4、市川市104.9、君津市102.3、勝浦市102.1、逆に最も低いのは御宿町の89.1で、以下、南房総市89.2、鴨川市89.4、鋸南町90.0、銚子市91.5となっている。

100以上の市町村は14市町で、100未満の市町村は42市町村となっている。

昭和36年以降の人口性比の動きを各年1月1日現在でみると、95.9から上昇し続け、昭和44年にはじめて男子人口が女子人口を上回り人口性比が100を越え、平成6年には、過去最高の102.2となった。その後は徐々に下降し、平成19年以降は再び100を下回っている。

図6 人口性比（昭和36年～平成22年、各年1月1日現在）



## 5. 世帯数

県世帯数249万世帯

1世帯当たり人員は2.48人

平成22年1月  
1日現在の本  
県の世帯数は

2,498,589世帯で、前年の世帯数2,459,935世帯に比べて38,654世帯増加し、増加率では1.57%となり、人口増加率0.55%よりも高い率となっている。

1世帯当たり人員は2.48人で、前年の2.50人に比べ0.02減少した。また、1世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の3.30人が最も多く、以下、本埜村・芝山町3.19人、長南町3.16人、印旛村3.15人と続き、逆に最も少ないのは市川市の2.17人で、以下、浦安市2.27人、松戸市2.30人、船橋市・勝浦市2.34人の順となっている。

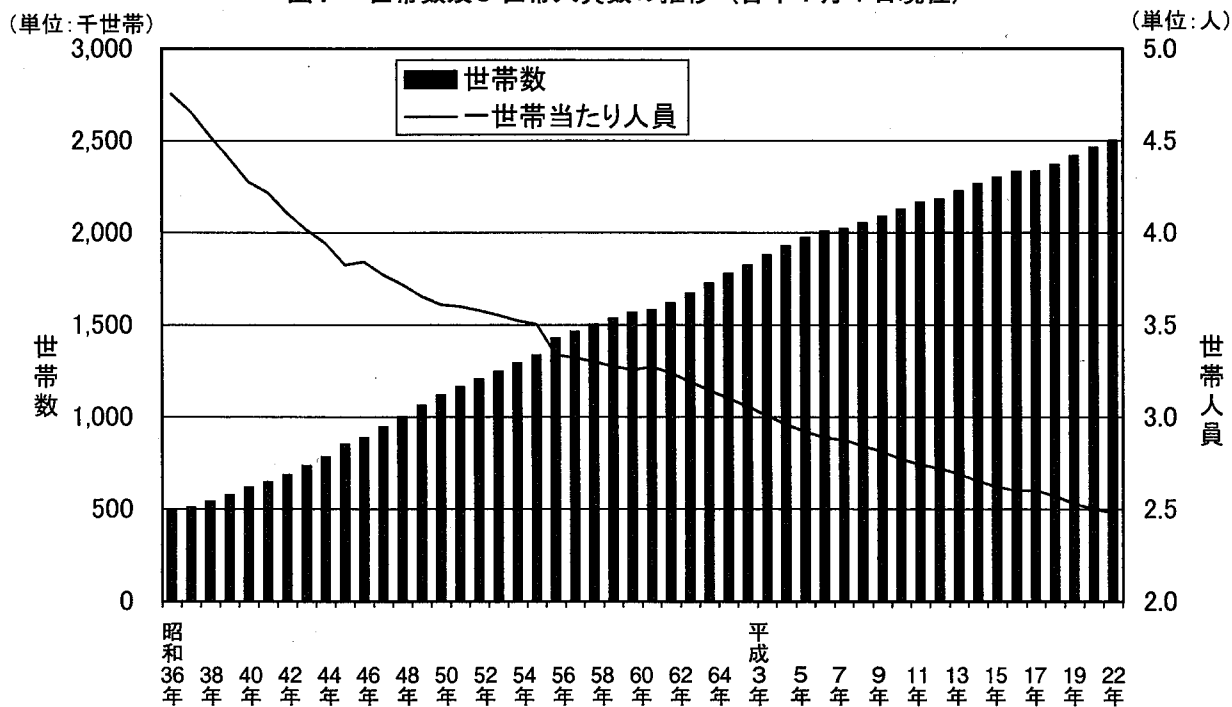
県の1世帯当たり人員より少ないのは9市で、多いのは47市町村となっている。

表4 月別世帯増加数（平成21年中）

	増加数	転入	転出	その他
1月中	942	6,807	5,978	113
2月中	851	6,780	6,314	385
3月中	11,952	23,551	13,800	2,201
4月中	11,227	19,107	10,166	2,286
5月中	2,442	8,010	6,182	614
6月中	2,230	7,905	6,443	768
7月中	2,485	8,112	6,813	1,186
8月中	1,019	7,175	6,691	535
9月中	2,481	7,889	6,362	954
10月中	1,743	7,932	6,742	553
11月中	1,245	6,627	5,452	70
12月中	37	6,120	6,158	75
計	38,654	116,015	87,101	9,740

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図7 世帯数及び世帯人員数の推移（各年1月1日現在）



## 6. 県外との人口移動

人口移動総数36万8千人  
移動率5.97%

平成21年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、368,613人で前年の376,061人に比べ7,448人減少し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は5.97%と、前年の6.13%に比べて0.16ポイント低下した。

2万6千人の転入超過  
転入超過率0.43%

平成21年中の県外からの転入者数は197,477人（前年203,069人）、転出者数171,136人（同172,992人）で、転入超過数26,341人（同30,077人）となり、転入超過数は3,736人減少した。

また、平成21年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.43%と、前年の0.49%に比べて0.06ポイント減少した。

なお、県外との関係では、前年までの東京都、神奈川県への転出超過が転入超過へと転じ、全ての都道府県から転入超過となった。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成2年～平成21年）

年次	移動数	移動率	転入超過数	転入超過率	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成2	432,300人	7.79%	43,116人	0.78%	237,708人	194,592人	5,546,610人
3	431,533	7.69	44,911	0.80	238,222	193,311	5,608,760
4	437,491	7.70	38,413	0.68	237,952	199,539	5,680,470
5	434,997	7.58	30,987	0.54	232,992	202,005	5,735,511
6	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
7	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
8	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
9	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014
10	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
11	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892
20	376,061	6.13	30,077	0.49	203,069	172,992	6,139,750
21	368,613	5.97	26,341	0.43	197,477	171,136	6,177,586

表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成17年～平成21年）

順位	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	北海道	1,570人	北海道	1,810人	北海道	2,415人	北海道	2,629人	北海道	2,325人
2	大阪府	1,255	大阪府	1,574	埼玉県	2,025	大阪府	1,779	大阪府	1,663
3	埼玉県	1,222	宮城県	1,302	大阪府	1,623	埼玉県	1,641	宮城県	1,192
4	茨城県	1,088	埼玉県	1,294	福岡県	1,479	宮城県	1,396	福岡県	1,156
5	宮城県	998	茨城県	888	宮城県	1,311	福岡県	1,359	埼玉県	1,141
順位	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	8,408人	東京都	6,323人	東京都	1,545人				
2	神奈川県	1,661	神奈川県	730	神奈川県	442				
3	愛知県	304								
4	島根県	16								
5	山梨県	1								